

事業名 地域子育て支援の基盤づくり及び支援者同士のネットワーク構築事業

事業主体 名称：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん

住所：備前市伊部1455

事業実施場所 備前市ふれあい交流拠点「くるみの森」

目的：地域で支え合う子育ての促進を目的に、各地に「地域子育て支援拠点事業」「ももっこステーション」などの整備が進んできたが、ここ数年間の社会状況の変化に対応した支援の質的向上には十分目を向けられていない状況がある。過去2年間、支援者のための学習機会を通じて支援者としての基礎的な力量のスキルアップを図るための学びと、支援者同士のつながりの構築を目的に講座を開催したところ、昨年度においては、コロナ禍で急遽の開催日程変更になったにもかかわらず、直接学べる機会を求めて県内各地から多くの方が予定を調整し受講された。オンライン形式での講座開催が多くなっている中、対面で学び、情報交換できる機会はとても重要だと感じている。今まで参加して頂けなかった方々や、新たに支援に取り組まれる方も含め、様々な支援者の方に学びの機会を提供したい。

概要・方法：

○ネットワーク学習会の開催

- ・地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座①、②
- ・地域子育て支援拠点等従事者 発展研修

○情報発信

- ・SNSによる情報発信
- ・登録による継続した情報提供

～事業実施内容～

ネットワーク学習会

<第1回>

- ① 事業名 地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座①
- ② 参加人数 岡山県下の地域子育て支援者 19名
- ③ 日時 令和4年10月14日（金）13：30～16：00
- ④ 場所 備前市市民センター
- ⑤ 内容 講師：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん
代表理事 赤迫康代
内容：①地域子育て支援の役割
②子どもの育ちを支えるかかわり



⑥ 活動の成果等 (受講生のアンケート感想より抜粋)

- ・子育て支援事業の歴史など、知らないことが多かったので勉強になった。子どもの育ちを支えるための環境について必要なことも学べた。
- ・子どもが健やかに育つために大切な大人のかかわりがとても具体的に伝えていただいたので、わかりやすく身近に感じ、考えることができた。
- ・グループワークなどで、悩みの具体例についての詳細やアドバイスをいただけたことで、月の活動へ活かせるアイデアが湧いた。

<第2回>

- ① 事業名 地域子育て支援拠点等従事者 基礎講座②
- ② 参加人数 岡山県下の地域子育て支援者 17名
- ③ 日時 令和4年11月11日(金) 13:30~16:00
- ④ 場所 備前市市民センター
- ⑤ 内容 講師：NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん
代表理事 赤迫康代
内容：①親の育ちを支える環境づくり
②地域で支えあう子育て



⑥ 活動の成果等 (受講生のアンケート感想より抜粋)

- ・支援者としてどのような価値基準を持ち続けながら活動・支援をしていくべきか、本質がよく分かり、大変良かった。
- ・親の育ちを支える環境づくり、とても分かりやすく、色々な人の話を聞く中で知ることもあり良かった。
- ・子育ての根幹には、親の育ち（自己肯定感や自信、楽しめているか）も重要であることが分かった。

- ・様々な拠点や関係機関の方とお話ができよかった。改めてひろばでの仕事をする上で、振り返るよいきっかけとなった。

<第3回>

- ① **事業名** 地域子育て支援拠点等従事者 発展研修（オンラインによる研修）
- ② **参加人数** 岡山下の地域子育て支援者 18名
- ③ **日時** 令和4年12月9日（金）13:30～16:00
- ④ **場所** 岡山市立上道公民館
- ⑤ **内容** 講師：坂本 純子さん（NPO 法人新座子育てネットワーク代表理事）
内容：『父親支援の育児参画とその支援について考える』



⑥ **活動の成果等** （受講生のアンケート感想より抜粋）

- ・母親だけの支援では 2 分の 1 しか支援できていないということ、父母共に支援することが当たり前というような場が必要だということが分かった。
- ・事例が豊富で、非常に分かりやすい講義だった。理由に対して具体的なエビデンスもあり腹落ちした。
- ・身近で父親の育休取得やひろば利用が目に見えて増えてきているので、具体的な取り組みを教えていただけ、育休を取られたお父さんのビデオもあって勉強になった。
- ・発信面でお父さん OK という言葉や写真をメッセージとして出す、男性の育休が取りやすくなったという情報提供、パパ対象の企画などに取り組みたい。

情報発信

○SNSによる情報発信

目的： HPやFacebookなどを活用して子育て支援に役立つ内容を発信し支援の向上を図る。

対象者：子育てや、子育て支援に関心のある方

実施時期：9月27日・11月23日・12月7日に、ひこうせんFacebookにて告知

実施内容：Facebookにて12月9日の子育て支援者研修「発展研修」の告知をし、DMでチラシ配布できなかった方々にも子育て支援に役立つ内容を広めていった。

○メール登録による継続した情報提供

目的： 支援者の方々が継続的に子育て支援に関する学習への意欲を高め、長期的に学び続けることのできるシステムを構築する。

対象者：県内の子育て支援関係の方々

登録者数：基礎講座受講登録者：41名（今年度 9名）

発展研修受講登録者：12名（今年度 5名）

実施時期：R4年10月14日（金）、11月11日（金）に配信

実施内容：学習会に参加した方やその他子育て支援に関心のある方などを対象にメール登録制度を作り、子育て支援の研修案内や地域子育て支援に関する情報を配信した。

～事業を終えて～

○事業実施による効果

「基礎講座」においては昨年同様、2回コースとし、社会状況の変化に対応した支援の質的向上に着目して、当団体が20年間取り組んできた子育て支援の実践に基づく内容で学びを組み立て、支援者としての視点を再確認できるよう提供した。開催情報を発信して早々から次々と申し込みがあり、すぐに定員に達した。昨年度受講された方が同じ団体のスタッフの方へ勧めて下さったり、日程の都合上やむを得ず基礎講座①のみの受講だった方々が、引き続き基礎講座②を受講するために申込みして下さい下さった方々など含め19名が申込みされた。支援者の方が、地域子育て支援の基礎的な考え方を確認したり、支援者同士の交流を図りながら学びあう機会となった。また、日頃実践している支援を見直しながら、より豊かな支援をめざそうと意見交換しスキルアップすることが出来た。

少子化など社会的変化がある中で、子どもの育ちを考えていくためには子育て支援の場があることが必要であること・子ども達の心身の発達の道筋を知り、子どもが本来持っている力を開花するような遊びの環境づくりが大切であることを学び合う機会を作り、再確認することが出来た。

ワークショップを通じて、「家族で」「地域で」「社会で」育てる子育ての社会化の中の主役はこどもであることなど、その方向性を各市町村の課題を出し合いながら支援者同士が考えていく貴重な時間になった。

「発展研修」では、2021年2月に閣議決定された成育基本法の内容を学ぶと共に、子育ての主役である父親の現状について理解し、適切な支援の方法を学び合えるような研修を組み立てた。

まずは、育休を取得された方の体験談動画を視聴し、当事者の現状や思いを共有した。次に、父親支援において第一人者であるNPO法人新座子育てネットワーク代表理事の坂本純子さんより、父親支援に取り組むために必要な基礎講座や父親支援先進国カナダの支援の紹介をお話し頂き、子育て支援者としての学びを深めることができた。

また、グループワークでは坂本さんの講話と父親の体験談から、今後の支援について具体的に考えることが出来た。

◎「基礎研修」に2回通して参加された方16名の方に修了証書を発行。

(昨年からの累計 48名)

◎「発展研修」は17名の方に受講証明書を発行。

◎SNS(フェイスブック)での情報発信によって、子育て支援に関心のある方はもとより、学ぶための情報が得にくかった支援者への情報提供になった。

◎受講生の方へメール登録を提案し、日常的に学びの情報提供ができるしくみを構築。昨年度の登録と合わせて、現在の登録者数は基礎講座41名、発展研修12名となった。

○今後の課題・展開

県内各地からの参加があり、支援者同士がつながることでエンパワーメントしていく様子が感じられた。受講された方はより良い支援をしたいという思いで学ばれていたが、アンケート記述より、学んだことを職場に戻ってどのように伝え、他の支援者に理解・共感してもらえるか課題とされている方々もおられた。

○まとめ

子育て支援に熱意をもって頑張っている方々が参加して下さったことにより、基礎講座・発展研修共に温かい雰囲気の中で学び合うことができた。基礎講座に関しては、開催告知早々に申込みが殺到したことから、子育て支援の方向性や具体的な支援方法を学ぶ場がないことへのジレンマを感じておられることも伝わってきた。発展研修で取り上げたテーマ「父親支援」についても、仕事と子育ての両立をめぐる様々な社会的課題を捉え、県内各地において父親支援が充実していくための機会づくりになったと感じている。当事業を通して、質の高い支援に向けて学ぶと同時に、子ども達の幸せを願って支援者同士がつながることのできる緩やかなネットワークを構築し、社会全体に発信できる機会をつくっていきたい。